

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

公式 YouTube



公式 YouTube チャンネルを開設しました! ぜひチェックをお願いします!

公式 Instagram



「学校のネタ帳」をテーマに長崎の学校の話をお届けしています

## 先生たちの働きがいを高める!

教職の魅力化作戦会議

全国的に続く教員不足は長崎県でも深刻な問題です。県は「子どもを大切に作る長崎県」を実現するため「長崎っ子が輝く! 学校応援プロジェクト」を推進しています。「教職の魅力化作戦会議」はそのプロジェクトの一環として、教員の働き方を見直し、教職の魅力を高めることを目的に設置したものです。

現状・課題

教員のなり手不足

長時間労働

教職に対する  
ブラックな  
イメージの拡大



学校関係者以外からの**アドバイス**を取り入れよう!



### 会議の設置

民間、有識者、PTA、  
行政、学校、各分野から  
12人の委員を選任

2023年度は**3回**  
の**会合**を実施

- (第1回) 会議設置の目的について確認  
「先生たちを元気にしたい!!」
- (第2回) 民間の業務診断やアンケート結果を基にした  
業務改善への意見交換
- (第3回) 本会議の第1年次のまとめと  
今後の方向性についての確認



### 委員からの主な意見



先生たちの負担過重の現状を広く知ってもらい、**学校や先生たちを応援する気運を長崎に生み出したいですね。**



学校の自助努力だけでは、業務改善はもう限界です。  
とにかく学校では人手が不足しています。  
**学校の仕事をサポートする人が必要ですね。**



**「地域が学校を支える、応援する」システムづくりが必要ではないですか。**  
地域の人の手を借りることも有効です。

#### まとめ

今後、魅力化作戦会議から、本年度の協議内容が「提言」としてまとめられることになっています。県教育委員会は、その提言に基づいた取り組みを推進し、先生たちの働きがいを高めていきます。

## Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは  
長崎市立西浦上小学校の

松本修太郎先生

民間企業での経験を糧に



### 松本先生ってどんな先生?

島原市出身の37歳。関東で民間企業の営業を11年務めた後、教員に転職して1年目です。2023年度は3年生のクラスを受け持っています。

#### 先生のリフレッシュ方法

休日に先生方とサッカーをしたり、家族旅行を兼ねて県外にサッカー観戦へ出かけたりすることが楽しみです。

#### 教員を目指したきっかけは

両親が教員で、自分も大学は教育学部へ進学しました。そのまま教員の道に進むつもりでしたが、友人らが就職活動をする中、教員以外の社会を知りたくなって民間企業へ就職。そこで悔いがないほど働きました。将来は故郷で教員になりたいと思っていたので長崎に戻ってきました。

#### この仕事に就いて良かったと思うとき

民間時代に比べてオンオフの切り替えができています。当時は家族と過ごす時間があまりありませんでした。今ではほぼ定時に家に帰り、家族そろって食事をし、子どもを寝かしつけるなど子育てに関わることができます。同僚の先生方の協力のおかげだとありがたく思っています。

#### 民間企業の仕事との違いは?

営業職をしていたころは、仕事の成果は数字ではっきりと分かりました。しかし、教員の仕事は明確な答えがありません。一方でそれが教員のやりがいにつながると思います。自らモチベーションを高め、前向きな気持ちでいるようになっています。授業の準備は日々試行錯誤です。